

国防は最大の  
福祉である

初代会長 故 高橋季義



# 國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会  
(略称・関防会)

〒542-0081  
大阪府中央区南船場3-11-10  
心斎橋大陽ビル7階  
TEL. 06-6241-1124  
発行人 濱野晃吉  
編集人 新川貞敏  
印刷所 (株)新聞印刷

第40号

(秋季号)

平成21年10月1日(木)  
(皇紀2669年)  
(大正紀元98年)  
(昭和紀元84年)

## トルコ軍艦「エルトゥール号」を慰霊

9月12日(土) 大阪梅田より観光バスで、明治23年9月16日紀州串本沖で台風の為に難破したトルコの軍艦「エルトゥール号」遭難慰霊碑参拝旅行に42名で出発した。

途中、陸上自衛隊和歌山駐屯地(駐屯地司令・木許光範2等陸佐)を訪問。木許司令の語るには、体育館もない日本一規模の小さい駐屯地で、その任務の中心は敵部隊の上陸を阻止する水際障害作戦(兼・第304水際障害中隊)であるが漁業権のため機雷敷設や水陸両用車両の訓練は北海道まで出かけて行う、とのことであった。

午後には航空自衛隊の串本分屯基地(第5警戒隊、基地司令・大塚克彦2等空佐)を見学。レーダー司令室などを案内して下さったのは総務係長の中平和人3等空尉であるが詳細は高岡昭一氏の訪問記を参照下さい。

夕刻に串本ロイヤルホテルに到着。串本町の田嶋勝正町長、村上修町議会議長、梅野光児副議長、橋爪和雄議員、浜田勝則議員、岡昇一議員など串本町の中枢の人達の出席を得て盛大な前夜祭(宴会)が催された。

13日はこの旅行の目的である串本町大島榎野崎に建立されている慰霊碑前で追悼の儀式が催された。「ここは串本 向かいは大島 仲をとりもつ(巡航船)」と歌われた大島は今も架橋されて車で簡単に渡れるが太平洋に突き出した断崖絶壁の岩礁の島である。濱野会長が哀悼の辞を述べた後、小西正純和尚の読経の中、全員が香料を供えて当時の大島の人達のトルコ軍人救出の奮闘ぶりを偲んだ。

本日、此地、串本町大島 榎野崎において、119年前、明治天皇を表敬訪問されたのち海難事故に遭遇したトルコの軍艦「エルトゥール号」遭難慰霊に、関西防衛を支える会を代表し、謹んで慰霊申し上げます。

明治20年(1887年)ロシアの南下政策による脅威を受ける日本、トルコが親交を結ぶべく、小松宮彰仁親王は明治天皇からの勅章と親書をたずさえてトルコ使節団一行は3カ月の滞りを経て、9月、エルトゥール号に乗り乗船した。同日16日、熊野灘に差

### 哀悼の辞

会長 濱野 晃吉

関西防衛を支える会

ていましてが生存者を介抱し、大切にしている非常食用の鶏も与え、食料が尽きる中69名の命を救いました。又、亡くなられた将兵たちの遺体も丁寧に葬りました。

エルトゥール号遭難の報は、明治天皇に伝えられ、直ちに医師、看護婦が派遣されました。その後、サダム・フセインはイランに2機のトルコ航空機が到着し、日本人215名全員を乗せて飛び立ったのであります。まさに、危機一髪の出でありました。

元駐日トルコ大使ネジメ・ティ・ウトカン氏は次のように語られています。

「エルトゥール号の事故に際し、大島の人たちや日本人がしてくださった献身的な救助活動を、今もトルコの人たちは忘れていません。私も小学生の頃、歴史教科書で学びました。トルコでは子供たちでさえ、エルトゥール号のことを知っています。今の日本人が知らないだけです。それでデヘランで困っている日本人を助けよう、トルコ航空機が飛んだのです。」

日本人が知らなかったこの両国の感動の美談は、本日、出席の田嶋勝正町長らのご尽力により、日本の歴史教科書にも掲載されることになったのです。そして日本でも子供達が、採択された教科書で学び始めました。これがさらに日本全国に広がってほしいものであります。

この度、大島榎野崎エルトゥール号慰霊碑の前に立ち、紺碧の海に沈んだ英霊と救出劇に関与した幾多の故人に対し、真心を込めて哀悼をささげるとともに、日本、トルコの先人たちがみせた「気骨」「武士道」を引き継いで両国の友好を深め、世界に役割することこそ、この地でお誓いし慰霊の粗辞と致します。

平成21年9月13日



### 御入会の御願い

関西防衛を支える会では平成22年度の会員募集中です  
御入会御希望の方は下記口座にお振り込み下されば会員となります

三井住友銀行守口支店  
普通口座 1261314  
口座名 関西防衛を支える会

郵便振り込み  
口座番号 00960-2-137035  
口座名 関西防衛を支える会

一般会員 年会費 3000円  
維持会員 〃 10000円  
法人会員 〃 20000円

\* 1口以上何口でも申し受けます。  
銀行振り込みの場合は小会まで住所など御連絡下さるようお願いいたします。  
(振り込み用紙には住所の記入が無い為、以後のご案内が出来ませんので)。  
\* 会計年度は4/1~3/31です  
(4月末までのお振り込みも新年度とさせていただきます)

### 関防会歴史勉強会 中島サロンの御案内

第21回 10月10日(土) 午後4時開会

講師 河原 達氏

昭和15年 鳥取県生まれ、一橋大学卒、三井物産入社象牙海岸などフランス語圏で約30年間商社マンとして活躍。その功績によりフランス政府よりナポレオン「農事功労賞」シュバリエ(騎士号)を平成9年1月に受賞

演題 知られざる国・フランス  
会費 4,000円(含む飲食代)

会場 錦城閣(中国料理)、電話06-6941-2185、地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅下車直上のキャッスルホテル3F  
申し込み 会員以外の方の御出席も大歓迎御希望の方は、下記へFAXで氏名・住所をお願いします  
FAX 06-4302-5187又は090-8160-0521(新川まで)

第22回 12月5日(土) 午後4時開会

講師 高橋 忠義氏(海将補)

海上自衛隊舞鶴地方総監部幕僚長  
弊会の故高橋季義初代会長の長男

演題 海上防衛の現状  
会費 5,000円(含む忘年懇親会費)

6面に訪問記

中島サロン

第19回

6月13日

関防会 歴史勉強会



【北方領土の今昔】井上 達夫 (独)北方領土問題対策協会 特別顧問 (元総務省統計局長)

改めて今、北方領土問題を考える

只今、紹介いただきました井上でございませう。この会場にご参加の皆様は大変お元気の様子です。で、私がいい加減なことを申し上げたら、うるし上げられるんじゃないかと心配しています。本日は、北方領土の話をして欲しいとのご要望がありましたので、喜んで東京からやってきました。

当初、新川部長からいただいた演題は「北方領土の全て」ということでしたが、その後「北方領土の今昔」にして欲しいとのことだったので、いざいざ話しやすいかと考えております。長い歴史の頭と尻尾、始まりと現状に絞った話が出来れば、と考えています。

北方領土に関する最近の報道

本日の講演につき、依頼を受けたのは本年の初めでした。その時期から今日まで、北方領土がマスコミで取り上げられることは結構多かったと記憶しております。

まず、突然決まった二月のサハリンでの日ロ首脳会談があります。これに関連して、政府筋から「三・五島返還論」が出されたとか、出されなかったとかの報道がありました。

二月の日ロ首脳会談では、麻生首相が「いままでの経緯にとらわれない独創的な発想で懸案を解決したい」と発言したと報じられました。ただ、何が独創的なのか、独創的な発想とは何を指す言葉なのかよくわからないといった批判がありました。

また、遡って一月の初めに、「出入国カード問題」ということも言われました。この問題は、十七年前から実施されている「ビザなし交流」と関連しております。「ビザなし交流」は北方四島の住民と日本人との間の交流は互いに「ビザなし」でやりましょ

うという取り決めで、既に一万五千人を超える人々が「ビザなし」で行き来しています。

「ビザなし交流」にした背景は、日本側からすると、北方領土は特殊な場所、日本としてはロシア領と認めていないわけですから、裏でもビザを取って行なうことは出来ないという方針でした。一九九一年訪日したゴルバチョフ大統領から「墓参りだけはなく、もっと交流を活性化したいのでビザなしでやろう」との提案があつて実現したもので

この枠組みによって双方の交流は促進されたわけですが、今年一月に、北方領土に対する医療支援(四島では医療品が不足しているという)と、日本人の元島民の方々が人道的な観点から医療品を届けるという活動を五年ないし六年前から実施しています。チームが国後島に上陸しようとしたところ、ロシア当局から「出入国カードにサインしてね」と言われたという事案がありました。

日本側は島の港でロシア側と協議しましたが、話し合いがまとまらず、仕方なく医療物資をそのまま日本に持ち帰りました。

この話は、原則に影響することです。「ビザなし」は墓参りも含めた様々な交流のベースとなっております。「出入国カードにサインしなければ島への上陸を認めない」となりまして、原則に触れることになるので、今後の交流はどうなるのだろうか、と心配されたのであります。そんなことが続きまして、今年になってからの北方領土に関する報道は例年以上に多いという印象を持っています。

今日も、たまたまインターネットで「北方領土問題」について検索してみたら、ロシア外務省が「北方領土は返還しない」との声明を出したと出ていました。

このロシア側の動きは、我が国において「北方領土問題を解決するための特別措置法」(略して「北特法」といふ)が改正されること誘引されたのではないかと考えています。(この改正は一昨日・六月十一日実現しました)

当該改正法では「北方領土は我が国の固有の領土である」と明示してあります。ロシア外務省は、この日本側の動きに唖みついた、ということですね。今年になってからの関連報道を紹介しましたが、北方領土という動かない問題の代表のように思われていますが、実は活発に動いていると言いたかったことが一つです。

二つ目は、これらの報道振りを見ての感想ですが、マスコミの問題への評価というか、もの見方が硬直的で、建て前だけが先行しているということですね。問題の本質が見失われ、かたや興味本位、面白がるという風潮が気になります。

北方領土問題の概観

次に、北方領土問題の基礎的諸問題について述べたいと思います。

本日は、参考資料として外務省が出した「われらの北方領土」(二〇〇八年版)と北方領土問題対策協会(北対協)が作成した「北方領土」を配布させていただきます。

これらの資料を逐一紹介することは出来ませんが、外務省資料の優れている点は、歴史的な経緯を詳しく記述していること、裏表紙からご覧いただくことができます。関連の条約や双方から出された文書などが網羅的に掲載されていると、時間がありますら、是非目を通されるのが良いかと存じます。

又、北対協の資料はごく概略的な内容となっておりますが、ポイントが示してありますので、以下の北対協パンフレットに触れながら北方領土問題をお話していきたいと思っております。

一八五五年の「日魯通好条約」

そもそもこの問題の発端は江戸時代に遡ります。十九世紀後半、西欧諸国の一つとして帝政ロシアも日本に開国を迫りました。ロシア側の責任者はプーチンで、日本側は勘定奉行などを歴任した川路聖謨(かわじとしあきら)という幕臣です。双方は、安政元年(一八五五年)静岡県の下田において「日魯通好条約」を締結しました。この条約では、両国の国境は千島列島の択捉島とウルップ島

との間とする、と決めました。

この時点で、両国は話し合いによって国後島、択捉島、色丹島、および歯舞群島は日本の領土であることを認め、ウルップ島より北の島はロシア領としたわけですね。

加えて、現在のサハリン、かつての樺太は、双方の混住の地と定められました。

この「日魯通好条約」はしっかりと交渉としっかりした事実に基づいて締結されたもので、国境画定としては間違いないものでした。

ロシア皇帝の訓令

日本側との交渉に当たったプチャーチンに対する当時のロシア皇帝ニコライ一世の訓令が外務省の資料集に掲載されています。

それによりますと、「クリル(千島) 諸島の内、ロシアに属する最南端はウルップ島であり、同島をロシア領の南方における終点と述べたかまわぬ。これにより(今日既に事実上そうであるように)我が方は同島の南端が日本との国境となり、日本側は択捉島の北端が国境となる」と記載されています。川路との交渉で、プチャーチンは択捉島までがロシア領だと主張していましたが、実はロシア皇帝から前記の訓令がきていたわけですね。タフ・ネゴシエーターだったプチャーチンは、知らん顔して択捉島までよこせと言っていたというわけですね。

ロシア政府の認識としては、択捉島の表態を見れば、日本の勢力がロシア人のそれを上回っており、同島を日本領とするのは現実を踏まえたものだと考えていたわけですね。又、樺太に関しては、交渉の途中で、実態調査をし、実態からしてどちらのものと言いつても結論を出したわけですね。つまり、樺太については両国とも納得の上で共同統治としたわけですね。

北方領土の面積と距離

皆様は北方領土についての程度認識しておられるかわかりませんが、その面積は意外と大きいのです。四島のうち最大面積を持つ択捉島は島根県より若干狭いぐらいで、我が国最大の島です(面積三二八四平方キロ)。次に大きい国後島でも沖繩本島(一〇五平方キロ)より大きく一四九九平方キロです。すなわち、我が国の島の面積を比べると、択捉島が一位で国後島が二位の大きさというわけです。これら四島の合計面積は五千平方キロを少し上回り、福岡県や千葉県と略同面積です。

又、日本本土である北海道からの距離は、歯舞群島の貝殻島まではノサップ岬から僅か三・七キロしかありません。国後島ですら野付半島(知床半島と根室半島の中間にある)から十六キロという近い距離です。さらに、知床半島から十キロ余りという近さです。

私は、国後島から知床半島を見たことがありますが、眼下に青い海がありその先に緑の美しい知床半島がある。手を伸ばせば届くのではないかとと思われるほど近い存在でした。

かつて一万七千人が居住

北方領土には終戦時点で、三二四世帯、一万七二九一人の日本人が住んでいました。最も人口が多かったのは国後島で七三六四人、次に多かったのが歯舞諸島で五二八一人です。歯舞諸島の人口が多いのは、昆布採集を業としていた方が多かったということですね。

昆布は大坂で加工されて全国に販売されるということを考えれば、北方領土は大阪とも深い関係があることが分かります。

現在、歯舞諸島には人は住んでいません。ロシア軍の駐屯地があるだけです。ちなみに、現在の北方領土に住んでいるロシア人の数は、軍関係者を除いて、約一万七千人となっております。

〇六年からロシア投資が活発化

北対協の資料にもありますように、又、前述しましたように、ゴルバチョフの提案により一九九二年から旅券(パスポート)・査証(ビザ)を持たなくても交流が出来る、いわゆる「ビザなし交流」が始まりました。

これにより様々なプログラムを通して四島住民が日本の実情や日本側の主張を理解出来るよう努めているわけですね。

これら四島は、一九九一年にソ連が崩壊して以来ロシア政府はほとんど顧みることのない場所でした。九四年に大きな地震がありました。モスクワからの支援は全くと言っていいほどありませんでした。現在でも、九四年の地震で壊れた建物がそのまま放置されています。

ところが、二〇〇六年から状況が一変します。まず、中央政府の関心が何人も四島にやってきました。そして島への公共投資が急に活発化します。

ロシア政府から二〇〇七年以降九年中総額一七九億ルーブル(約八〇〇億円)もの資金を投じる開発計画が閣議で決定されました。

それまでも、いくつか計画はあったのですが、まともに資金が流れてきたことはありませんでした。ところが、〇六年からは本当に資金が投入されるようになってきました。その具体例としては色丹島の中学校があります。九四年の地震で瓦礫の山となっていた場所に立派な校舎が建設され、中央政府のやる気を示す格好のシンボルとなりました。

なお、北方四島の経済は、北対協の資料にもありますように、漁業と水産加工業が中心です。

北方領土問題の原点

(スターリンの重大なる犯罪) いよいよ本題に入りたいと思います。北方領土問題の原点は、何と言っても、ソ連時代におけるスターリンの重大な国際法違反です。まさに犯罪であり

取り戻せ北方領土

その犯罪とは、ポツダム宣言に違反するシベリア抑留と北方領土問題の二つです。当時のソ連の独裁者スターリンは国際法を、国際法を守ろうという気がなく、軍力を背景に犯罪行為を推し進めました。

### 国際法違反のシベリア抑留

シベリア抑留については、よくご存知の方も多いと思いますが、昭和二十年八月九日、ソ連軍は突如ソ満国境から侵襲し、十五日に終戦となったあとに満州、モンゴル、及び北朝鮮にいた日本兵約六十万人（一説ではそれ以上とも言われます）をシベリア各地に抑留しました。

抑留された日本人は苛酷な強制労働に従事させられ、極寒の地で約六万人が命を落としました。

シベリア抑留による日本軍将兵の死亡者数は一応六万人とされていますが、いまだに確定的な数字は分かりません。昭和の時期には約五万人ということが言われていました。一九九一年にゴルバチョフが訪日した際に持参した資料には三万五千ないし三万六千人がリストアップされていました。しかし、この時ソ連側が示した死亡者数は全てではないということも分かっています。現在の通説では、抑留された人数が六十万人、死亡された方がその一割の六万人とされています。

抑留期間は、一番長い人では、十年以上に及びました。

このシベリア抑留があらゆる国際法違反であると言っているのは、連合国が日本に通告し、日本が受諾した「ポツダム宣言」の第九項に明瞭に違反しているからです。

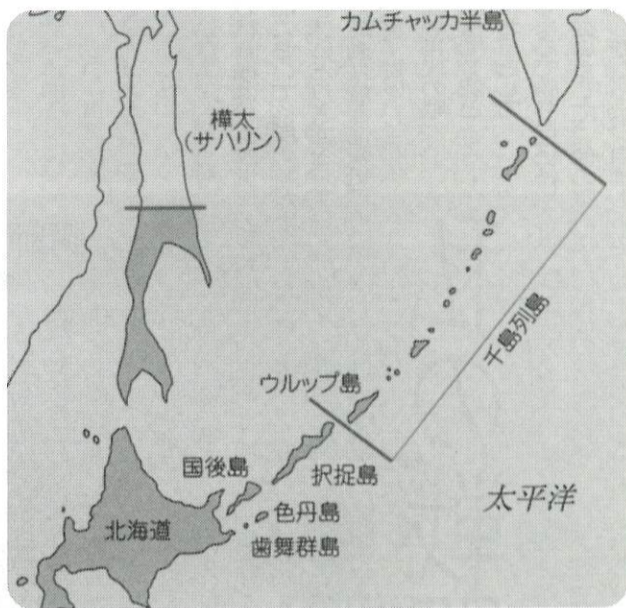
「ポツダム宣言」第九項には次のように書かれています。「日本国軍隊は完全二武装ヲ解除セラレタル後、各自の家庭ニ復帰シ、平和的且生産的ノ生活ヲ営ムノ機会ヲ得シメラルヘシ」

「ポツダム宣言」は、連合国側から日本に対して降伏を勧告したのですが、同時に日本が降伏した後、連合国側の対処方針・条件を明示したという点に特徴があります。「ポツダム宣言」第五項に「吾等が条件は左の如し」として連合国側が守るべき条件を明示しています。その一つが、前記の第九項です。つまり、連合国側は、日本軍が武装解除した後には、日本軍將兵を日本本土に戻して平和的且生産的な生活ができるように配慮しなければならぬ義務を負っていたわけなのです。

### ポツダム宣言の領土条項

スターリンが犯した第一の重大なる犯罪は領土の奪奪です。

前述の「ポツダム宣言」第八項には「カイロ宣言ノ条項ハ履行セラレバク又日本国ノ主権ハ本州、北海道、九州、及四国並ニ吾等ノ決定ス



1905年ポーツマス条約の結果

ソ連による不法な占拠  
一九四五年八月十五日、日本はポツダム宣言を受諾して降伏した。多くの戦線はこの日を境に沈黙化しました。

しかし、ソ連は、八月十八日、カムチャッカ半島から出撃して来た第二極東軍が千島列島の攻撃を開始、一番北のシムシム島では日本の守備隊との間で熾烈な戦闘が行なわれました。十五日の停戦以後も、進攻してきたソ連軍との戦闘が継続するという事態が発生したわけなのです。

ただ、この段階でのソ連軍は千島列島最南端のウルップ島で侵襲を停止し、そこから引き返しました。つまり、このソ連軍部隊は、日本との国境はウルップ島と択捉島との間であるからそれ以上は進まないように命令されていたと推測されます。

ル諸小島二局限セルヘシ」とあります。この後段にある「諸小島」について、連合国は最終的に何も決定しませんでした。ということは、「決定」されていない部分は「カイロ宣言」をベースとして判断されることとなります。

「カイロ宣言」では「同盟国は自国の為の何等の利得をも欲するものに非ず」「又領土拡張の何等の念をも有するものに非ず」としており、戦争によって自国の領土を拡張しないことをはっきりと宣言しています。

加えて、日本が第一次世界大戦によって領土に加えた南太平洋の島々、満州、台湾、及び澎湖諸島の領有権を放棄すること、さらに、日本が武力によって略取した地域から日本を駆逐する、そして、朝鮮を独立させる、と記しています。

繰り返になりますが、連合国側は「この戦争（第二次世界大戦）では領土拡張を求めない」とことを明示しており、かつ「日本が手放すべき領土はこれである」と限定して列挙しているというわけです。現在問題となっている「北方四島」は、右の条件に示される「手放すべき領土」には該当しないというのが日本の主張です。

「カイロ宣言」に署名したのは米国のルーズベルト大統領、英国のチャーチル首相及び中華民国の蒋介石の三人で、対日戦を戦っている連合国の代表として署名したわけなのです。ソ連も対日戦に参加する際にこのメンバーとなったのです。

### 残留日本人を強制排除

ソ連は、停戦後の状態を国際的に承認してもらおうというプロセスをすすめて、翌一九四六年二月、国内法の手続きによって北方四島を区域とする南サハリン州というものを設置してしまいました。連合国側は、「戦争によって領土を拡大することはない」と明言していたにもかかわらず、連合国の一員であったソ連は軍事力の行使によって北方四島を奪取したわけなのです。

国内法によってソ連領とした直後から、ソ連の一般人が続々と入植のため島にやってきました。島にはまだ日本人が残留していました。残留日本人にとっては誠に理不尽な事態となっていました。この事態は約一年続きます。

一九四七年から残留日本人を強制的に内地に帰還させる行動に出ます。いきなりソ連軍がやってきて「何日以内に荷物をまとめて出て行け」とやりましたから、残留日本人の苦勞やいはばかりか察するに余りありません。一九四五年八月十五日をもって連合国との戦闘行為は終わったはずでしたが、その停戦後においてソ連は、シベリア抑留及び北方領土の占領というこ

を通して百万近い日本人に対して暴行、虐待、強制連行、ある部分では殺害行為も発生したことは間違いないことではないでしょうか。

### 根室町長の叫び

ソ連軍が北方四島に侵襲して島内が大混乱にある中、歯舞諸島を管轄区内に持つ根室町長は、一九四五年（昭和二十年）十二月、一通の書状をマッカーサー元帥宛に送りました。

その書状の日付は昭和二十年十二月一日、書いたのは当時の根室町長の安藤石典（あんどういすけ）氏です。

冒頭「閣下に対し、余は、現在ソ連の占領に係るハボマイ諸島並びに南千島諸島の事情に付陳情することを衷より光栄に存じます」という文章から始まる。元帥宛の陳情書には切々たる安藤町長の思いが溢れています。

この陳情書は、北方四島返還運動の嚆矢、返還運動の最初の行動となったもので、まさに歴史的な文書と言えます。北方四島返還運動に係る人々の間では大変有名な文書として、内容も非常に優れたものと考えられています。にもかかわらず、ほとんどの日本人はその存在すら知らないのです。本日、その写しを添付することにしました。

当該陳情書について要点を紹介します。

陳情書の主張その一は「現在ソ連軍が占領しているハボマイ諸島は、北海道根室の一部にあり歯舞村の区域である。千島列島の内、色丹島、国後、択捉の三島は日本の封建時代より日本領土でありまして、住民は父子相伝えて三代ないし五代位も相継しており」として、日本領有の正当性を強く訴えています。「固有の領土」論がこの時期から主張されていることに注目されます。

さらに、これに関連して「吾が根室港は南千島及びハボマイ諸島を水産圏内として水産業の中心地でありました。したがって、産業、経済、人情、風俗等全く同一でありまして親子の關係にありまして。その距離にしましても、極めて近距離にして地理的にも歴史的にも北海道に付属する小諸島であります」と述べています。

加えて、ソ連軍の不当な侵襲を非難して「一九四五年九月〇日、ソ連軍は南千島及びハボマイ諸島に対して武力占領を行ないました。而して、住民の家宅捜索を行い、金品を略奪、又銃殺された者もおりますので、不安に駆られ小舟艇にて根室町に逃避するものが続出し、現在、非常な数にのぼっています」とも述べています。

又、ソ連軍の暴虐ぶりにつき「ソ連は、小諸島に対し保障占領にあらずして軍事占領をなし、住民の自由を拘束して根室港との往來交通を禁止、略奪暴行の拳に出て住民の不安極度に達し、択捉島の如きは全然消息不明の現状であります」とその酷い実態を率直に述べています。最後に「日本がポツダム宣言を忠実に履行する上

からも以上の諸島を米軍の保護占領下に置かれ、余等をして安んじて是等の生業に就かめ賜らんことを重ねて嘆願する次第です」と訴えています。

この文書の核心部分は、「北方四島は北海道の切っでも切れない一部です。したがって北海道に駐留している連合国軍によって管理されるべきです」という点にあります。

### 戦後の日ソ関係と領土問題

一九四五年八月十五日の終戦、ソ連軍の北方四島への侵襲、一九四六年からのロシア人による島への入植開始は既に述べました。が、日本が独立を回復したサンフランシスコ平和条約においても問題はそのまま残されました。そもそもソ連代表はスターリンの命令により平和条約に調印しませんでした。

そのため、サンフランシスコ条約が五年遅れて一九五六年十月に「日ソ共同宣言」が調印されました。この宣言では、両国間で正常な外交関係が回復された後、平和条約の締結に関する交渉を続けること、平和条約締結後に歯舞諸島と色丹島を日本に引き渡すことに同意するとしました。しかし、平和条約の締結と島の引渡しは実現しないまま東西冷戦の狭間で何年進展しませんでした。

一九九一年四月、訪日したゴルバチョフ大統領との間で交わされた「共同声明」で「北方四島は平和条約によって解決されるべき領土問題である」と文書によって明確に確認されたことは、ソ連が長い間「領土問題は存在しない」といい続けてきたことを考えると、特筆されることでした。

ただ、同年末にはソ連が崩壊、新しいロシア共和国が誕生したものの、国内の混乱が続いたこともあり、暫く動きはありませんでした。とはいえ、いろいろな局面で当時の政治リーダーたちは交渉の場を設け、話し合いに臨みました。一九九三年の東京宣言、二十年までに平和条約を締結するとしてクラスノヤルスク合意などいろいろなことがありました。

### 五年のプーチン訪日とその後

その後、二〇〇四年三月の選挙で再選され権力基盤を固めたプーチン大統領が二〇〇五年十一月に訪日、小泉首相と首脳会談を行いました。

再選されて権力基盤を強化した大統領の訪日だっただけに、日本側は問題解決の可能性が高まったと期待しました。事実、再選後のプーチンは北京に乗り込み、長年の懸案事項だった中ロ国境問題は全面的に解決したと公表して関係者を驚かせました。しかし、訪日したプーチンの交渉スタンスは大変に厳しいものでした。すなわち、プーチンは「日本側が四島すべての返還を求めるのは奇異である」と

述べ、さらに「四島はロシアの主権の下にある」とは国際法上確定している」と主張しました。そして「歯舞諸島と色丹島の二島返還を約束した」とは認めるが、「これはあくまでもロシア側の善意によるものだ」と述べています。

つまり、五十六年の共同宣言に書かれている内容で全ての決着とすべきだという主張で、到底日本が飲めるものではありませんでした。

結局、この時の首脳会談では、領土問題に関する共同文書すらなかったのです。従来の日ロ首脳会談の通例から見ると、非常に異常なものでした。

この結果は、北方領土問題の原点の地といわれる根室の人々に強い衝撃を与えました。その状態は、根室市を中心となって取りまとめた「再構築提言書」から読み取ることが出来ますが、一言でいえば、従来の政府の政策、返還運動、ヒザなし交流の

あり方などを全面的に見直すべきだということとです。とりわけ四島との関係では経済交流も含めて拡大することを強く求めています。

もとより、領土問題は国の主権にかかわるもので、地元や元住民の意見で全てを決めるべきではありません。しかし、その意見や要望には真摯に耳を傾ける必要があることもまた当然です。皆様方にも、是非関心を持っていただきたいと思えます。

最後になりますが、北方領土問題というと、日本側が攻めて、ソ連・ロシア側が逃げ腰という印象がありますが、最近では、ロシア側が一貫して積極姿勢で、むしろ日本側のほうが、「面積等分」論とか、「三・五島返還」とか、「ウィン・ウィン」でなければ無理」論とか、グチャグチャして一貫性がないという感じを持たれているのではないかと、これは由々しきことだと思えます。国の方を決めるのは国民

でなければいけません。北方領土問題についても、国民の理解と熱意が帰趨を決めることになる局面が近づいている感じがします。

以上、北方領土問題の頭と尻尾の部分について分かりやすくお話ししたつもりです。結果の不首尾はご寛恕いただき、何かのご参考になれば幸いです。ご清聴有難うございました。(拍手)

(文責・山本)

## 中島サロン

第20回

8月22日

# 関防会 歴史勉強会



講師 岸谷 宏 (防大11期)

れた戦闘機なので、その機種の選定する時期に差しかかっています。

F15は、第四世代の戦闘機といわれています。第五世代というのは、ステルス性能を重視したF22ラプターやF35ライトニング等を指します。

第四世代の機種を原形をとどめないくらい改良した機種を4・5世代と呼ぶ場合もあります。

そもそも世代が異なるということとは、戦闘機的设计思想が大きく異なるということです。

つまり、第五世代の戦闘機は、第四世代の戦闘機に比べますと、性能において格段の差があるということとです。F22を例にとりますと、高いステルス性、格段に優れた運動性能と情報処理能力、優れた旋回能力などです。もし、

# 私の戦闘機人生

## 次期主力戦闘機について

現在、我が国の主力戦闘機はF15です。とても優

もまるで勝ち目はない、ということになります。従いまして、他の国が新しい世代の戦闘機を導入したならば、自国も新世代の戦闘機を配備することが望ましくいわけです。

米国は、既にF22という第五世代の戦闘機を実戦配備していますので、ロシアや中国も第五世代の新しい戦闘機を早期に導入するべく懸命に努力しています。当然、我が国も新世代の戦闘機を必要としています。

## Gとの戦い

戦闘機の搭乗員にとっても避けて通れないのが「Gとの戦い」です。通常、地上に立っている状態が1Gですが、戦闘機に乗ると、作戦遂行するため急上昇や急旋回を経験することになります。かつて搭乗していましたF15では9Gという厳しい状況を体験します。

9Gといってもピンと来ないかもしれませんが、遊園地のループ型ジェットコースターが急にループに入るときのGがだいたい4Gです。旧式の86FとかF104でも6Gとなります。

Gが発生するのは戦闘機が旋回する時です。戦闘機を水平に旋回させるためには機体を傾けて求心力をつけます。その反対の力として強い遠心力が発生します。この遠心力がGです。

皆さんが、バケツに水を入れて大きく振り回しますと水はこぼれません。つまり、遠心力によって水はバケツに押し付けられています。

これと同じで、戦闘機が旋回するときは搭乗者は遠心力で機体に押し付けられるわけです。これがGです。F15での旋回は6G旋回が普通ですから、最低でも6Gをクリアしなければなりません。

6Gを想像していただきます。普通人の頭の重量は約7キロといわれます。ヘルメットをかぶりますと約8キロとなります。

6Gでは、48キロとなります。元々の重量が8キロですので、頭に十キロの米袋を4個乗せたことを想像して下さい。この状態がうかつに頭を動かすと

すぐに鞭打ち症になりかねません。

F15は強力なエンジンをもち、いつまでも6G旋回ができますので、パイロットに大きな負担を強い

ます。ですから、多くのパイロットは首や腰に何らかの疾患を持っています。

大きなGが掛かりますと血液も影響されます。つまり頭に血液が供給されず、朦朧したり、正常な判断力が大きく減殺されます。そればかりか、視力が完全になくなる「ブラックアウト」という現象に襲われます。そのためパイロットの体を締め付けて、無理やり上半身に血液を残すための「Gスーツ」を着用します。

## 苛酷な環境にあるパイロット

戦闘機のパイロットは一見カッコ良いように受け止められていますが、実は、とても苛酷な環境にあります。

上空は空気が薄く、気圧も平地の半分以下です。しかも、戦闘の可能性がありまから、すぐ神経を使いますので、一つのフライトを終えて地上に戻ってきまると汗がびしょりになっています。

前述のように、Gに堪えることができる強靱な体を維持するとともに、気圧の低い状況でも的確な判断力を発揮できるような訓練、体調管理も欠かせません。

航空自衛隊では、減圧室という特別の施設で訓練を受けます。

減圧の下では、歯の被せ物にある小さな空気が膨張すると、腸内にあるガスが膨張してひどい痛みを味わうこととなります。

戦闘や事故のため高空において戦闘機から脱出する場合もありますが、外界は低圧なので、急激に低圧状態に放り出されると、肺細胞が破裂して死に至ります。これを防止するために、コックピット内の気圧を外気から二・七五PSI(民間機は七から九PSI)の差圧を維持して減圧して徐々に低圧に慣れさせるように出来ています。

このため、低圧に耐えられるかどうか地上で検査するために減圧室という装置で訓練することが不可欠となります。

もし、冬の海でしたら三十分以内に救出しないと大事なパイロットを失うこととなります。また、救出用のヘリコプターが悪天候の為に出発できないという事態もありますので、戦闘機のパイロットは

## レーダー技術の進歩

第四世代の戦闘機は電子戦能力を飛躍的に向上させました。電子戦能力とは、電波妨害に対する対抗力と、電波妨害する能力のことです。

ステルス性能とは、レーダー電波を反射する面積を可能な限り小さくすることか、またレーダー電波を反射させないで吸収してしまうことを指します。

第五世代では、この性能が一段と向上しています。たとえば、前述したF22などは、戦闘能力を向上させて、なおかつ高いステルス性能を兼ね備えています。

レーダー技術には、敵の電波をかく乱する技術も含まれています。あらゆる技術を駆使してレーダー技術を向上させることは近代戦では不可欠な要素となっています。

ただ、残念ながら、我が国の電波行政は、安全保障を念頭に構築されていません。この部分は、本日のテーマからそれますので深入りしませんが、我が国の安全保障にとって何が重要かということをもっと真剣に考えていただきたいと思えます。

## 戦闘機性能の飛躍的向上

近年、戦闘機の性能は、すでにいくつか指摘しておきますように、飛躍的に向上しています。

F15の写真をご覧になれば分かりますように、かつてのF104などに比べますと、翼が大きくなっています。それだけ揚力が増しています。加えて推力が大幅に増強されたから、旋回能力が非常に向上しました。そのためパイロットに掛かるGが増えたことは前述のとおりです。

加えてコンピュータによる飛行制御能力の向上です。コンピュータを利用した飛行制御技術の向上は目を見張るものがあります。極端な例ですが、主翼の一部無くなっても無事に飛行場へ戻ってきたことがあります。様々な異常事態に対してもコンピュータが的確に制御する能力には驚嘆させられます。

また、操縦性も一段と向上しています。コンピュータによって操縦の安定性を保つようになっています。たとえば、たとえ主翼の一方が完全に脱落しても生還

できます。事実、生還した事例がありました。

### これからの戦闘機とは

戦闘機の将来について述べてみましょう。第一が、何度も触れましたステルス性能です。電波を反射しにくい形状にする生産技術、電波の反射を無くす多くの工夫、電波を吸収する素材の開発などがそれぞれです。

ただし、ステルス戦闘機をいち早く発見する技術開発も進んでいます。この技術は相当に難しいのですが、数年以内に実用化されるものと考えています。

第二に、パイロットが戦闘機に搭乗して戦闘するというのではなくて、無人の戦闘機を使うとか、ミサイルを多用するとかの戦術が考えられます。ただし、味方を撃墜しないようにする技術はトックブシークレットです。

私は、パイロットだった時期に「戦闘機は無人にすべきだ」と主張したことがあります。するとパイロット仲間から「お前はパイロットではない」と批判されたことがあります。しかし、戦闘機は国防のために存在するわけで、男のロマンのために存在するものではありませんから、人的犠牲を最少にするというなら無人機でもいいと考えています。

### 日本の防空システム

日本の航空自衛隊のマニュアルには「発見」「識別」「要撃」「撃破」と書いてあります。中には「敵地攻撃」という文字はありません。あくまでも「専守防衛」という基本方針がありますので、敵が攻撃した場合のみ対抗手段が取れるという建て前になっています。

しかし、近年、北朝鮮のミサイル発射という事態に対して「敵の攻撃が明白な場合、攻撃される前に敵地を攻撃してもいいのではないか。これも専守防衛の範囲内だ」という議論が噴出しました。もし、この議論が政府の方針として出されるなら、航空自衛隊としても「敵地攻撃」という文字をマニュアルに追加することになるでしょう。

### ミサイル攻撃に脆弱な日本

従来、我が国は島国なので国防には有利だ、という議論がありました。ミサイル攻撃には当てはまりません。

特に低空から攻撃してくる巡航ミサイルを防ぐのは容易ではありません。巡航ミサイルは小型であるためレーダーで捕捉しにくいばかりでなく、低空を高速で飛来するため「発見」しても被爆を防ぐまでの時間的余裕がありません。また、「ミサイル防衛」の関連で申し上げれば、

ミサイルというものは、発射されて上昇する段階で、そのミサイルが何処をターゲットにしているかを見極めることは出来ません。しかし、

弾道ミサイルが自国の上空に来る前に撃墜する必要がありまますので、もし撃墜した後で「日本を狙ったものではないのに撃墜した」とほけしからん」と抗議されても、ただ「間違えました」と謝るしかないわけです。

### 集団的自衛権と武力行使

我が国では、集団的自衛権を、「憲法上保有しているが、行使できない権利」と解釈していますので、「ミサイル防衛」といっても「日本を狙うミサイル」のみ攻撃できるものであって、同盟国を狙った、あるいは何処を狙ったものか判然としないミサイルは撃墜できないということになります。はたして、これだけの議論を深めるべきではないでしょうか。

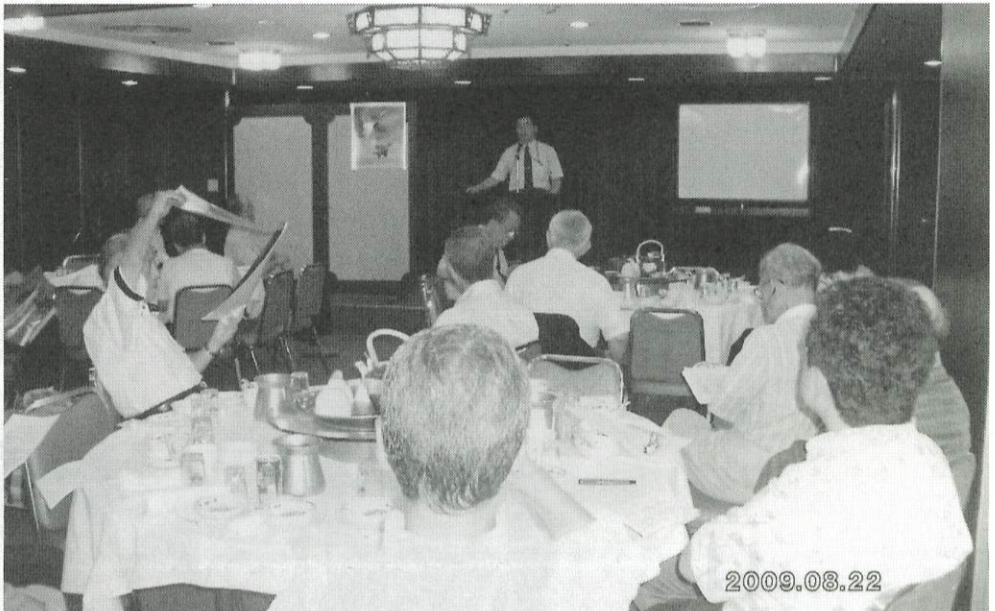
ただ、「憲法改正」や「集団的自衛権の凍結解除」と言っても、軍事上簡単な話ではありません。仮に、憲法改正して自衛隊を国防軍としたとしても、自衛隊の実情は「米軍の補完機能」に止まっていますので、本格的な国防軍に格上げするためには多大な経費と長い時間が必要となります。

たとえば、潜水艦探知機能を取り上げてみますと、日本の自衛隊は米国のシステムのもので潜水艦探知を行なっていますので、独自の探知システムを新たに構築するとすると相当な困難を伴います。

### 日米安保の功罪

日米安保は、米国は日本を防衛する義務はあるが、日本は米国を防衛してはいけない。つまり「片務条約」です。

日米安保条約のマイナス面として、日本人から防衛意識を奪ってしまったという面が指摘されます。日本の大学では、軍事学とか戦略論をまともに教え



ることはありませんが、極めて不自然なことでもあります。

一方で、日米安保のおかげで、我が国は軍事予算を削減せずに経済復興に全力を注ぐことができました。我が国の最優秀人材を自動車や電機産業に振り向けました。

米国の最優秀人材は軍事や宇宙分野に振り向けられました。ですから、日本は軍事部門や宇宙分野では米国に勝てない。代わりに自動車や電機部門では日本がリードできる。

このように、日米安保というものは、単に軍事的なものばかりでなく、非常に奥が深く、価値のあるシステムであるということが言えます。同時に、複雑な政治的、軍事的な要素も包含しているものであるということをご理解いただきたいと思えます。

### 米国の本音

日本では、「憲法を改正して自主的な防衛態勢を作れ」とか、「集団的自衛権の凍結解除しろ」という議論があります。米国内からも、時々、これらの議論に賛成する意見が出されます。

もし、日本が集団的自衛権の凍結解除したならば、米政府は、すぐにでも日米安保条約を双務的なものにしてしまおうと言ってくると思います。米政府は、いっすね引いて待っていると言っているのではない。

米国の本音は、日本が自主的に自衛隊を削減することを望んでいます。ただし、軍事大国にはなっていない。

したがって、解除するにしても「ミサイル防衛」の分野に限るとか、米政府を納得させる方法で、かつ日本の負担を大きくしないように、つまり形で解除するということが慎重なやり方だと思っています。

### 中国の台頭について

中国は、今や世界第二の経済大国になろうとしています。2兆ドルを越す外貨準備を有し、毎年二桁の防衛予算増加を続けています。特に、海軍と空軍の増強に力を入れており、我が国にとって大きな脅威となりつつあります。

この中国の軍事大国化に対抗するため、我が国では「核武装」や「原子力潜水艦の保有」および「航空戦力の増強」などがよく議論されます。ただ、日本の軍事専門家の中では「核武装すべきでない」という意見が強い。なぜなら、核兵器は、広島、長崎で使用されてから一度も使用されたことがない。つまり、今後も使えない兵器なのだという訳です。

ですから、自前の核武装をせずに、米国の核の傘に入っていたほうがいいのではないかと、という意見です。又国際社会から「日本は軍事大国を目指しているのではないかと」見られて、不必要な摩擦を起す可能性が出てくる恐れもあります。

### 自衛隊の限界を国民に伝えよ

我が国の自衛隊の能力は世界でもトップクラスといえます。規律面でも信頼性においても、又戦術面においても米軍と比較しても遜色ありません。

ただ、我が国の法律は安全保障をほとんど意識せずに構築されています。いかに優秀な自衛隊といえども、このような法体系の下ではその能力を発揮することは無理でしょう。

自衛隊にとって、出来ないことは多いのですが、出来ることは僅かです。このような自衛隊の実情をもっと正確に国民に周知して、「日本はこのようにリスクを持っていますよ。このような現状をどのように考えますか」と訴えて、国民に問題意識を持たせるようにすべきでしょう。

### 二一世紀のサバイバル

ノーベル賞受賞者に「二一世紀における最大の課題は何ですか」というアンケートを採ってみると、七五パーセントが「人口爆発」と答えています。

現在、地球上の総人口は約六十三億人ですが、二〇五〇年には九十三億人に増えるだろうと見込まれています。約一・五倍になるといいます。

このことは、地球上の食糧生産を一・五倍にするか、全員が現在の三分の二まで食事の量を減らすなければならぬわけですね。この状況でわが国が生き残るには、国防とともに国際協力業務を推進し、我が国が世界から必要

な国であると認識してもらう必要があります。そうすることで、我が国は世界から食糧やエネルギーを輸入しうる状況を作ることが出来ます。私としては、一つの案として次のようなことを考えています。

私が現役の時代、東チモールに派遣されて、東チモールから逃げてきた難民に生活物資を運ぶ仕事をしました。

インドネシアとしては、東チモールから逃げてきた難民を助けることは、インドネシアに敵対することになります。ですから、派遣された当初は、インドネシアから非協力的対応を受けるかもしれないと考えていました。

しかし、実際に現地に行ってみると大歓迎を受けました。

なぜ我々がインドネシアで大歓迎を受けたかを調べてみますと、先の大戦終結後にインドネシアがオランダから独立しようとして武器を取って立ち上がったとき、多くの日本人がインドネシアの独立戦争に参加したからだということです。

このように、国際社会の為に命を掛けて貢献するということを重ねていけば、どんな事態が来ようとも生き残れると確信しています。

ご清聴有難うございました。(文責・山本)

**陸上自衛隊八尾駐屯地 中部方面航空隊 創隊47周年記念行事**

期日 10月10日(土) 午前10時から

場所 大阪府八尾市 空港1-81

電話 072-949-5131 (広報室)

詳細は上記広報室へお問い合わせ下さい。

**陸上自衛隊伊丹駐屯地 中部方面隊 創隊49周年記念行事**

期日 10月18日(日) 午前10時30分から

場所 兵庫県伊丹市 緑ヶ丘7-1-1

電話 072-782-0001 (広報室)

詳細は上記広報室へお問い合わせ下さい。

今回トルコ軍艦「エルトルル号」の殉難慰霊祭に参加させて戴いた。事務局より慰霊碑前で読経をしてくれと依頼があり快諾した。仏教では120回忌の法要となる。

従前のサイパンやフィリピン慰霊祭では大阪護国神社の柳澤宮司と愚僧により神仏両道で奉修したが、今回は愚僧だけである。殉難したトルコ将兵は回教徒であり、かつて宗教に起因する戦争は数多発生しているが、主催者は日本人であり、場所は日本であるゆえ心置きなくお祈りした。

大東亜戦争と一面アンソロサクソ、つまりキリスト教への抗戦であり、わが皇軍はアジア解放のための天誅なりと、気宇壮大な戦意で対戦した事は軍歌を高唱されれば諒解頂ける筈である。このような史実が故に果たして回教徒・トルコの殉難将兵に仏式で報恩謝徳して御嘉納頂けるか、宗教家として人知れず悩んだ。

そうした折りに「靖国」という機関紙に掲載されていた明治天皇の御製が目にとまった。

目に見えぬ  
神にむかひて  
はたかざるは  
つてすべし。これこそ我が  
国の神々に正対する時の心  
構えであり、日本の神道  
(かんながらのみち)の神  
髓にして仏教の真骨頂なの  
だと。  
従ってトルコの将兵を仏  
合掌

## 報恩謝徳

妙見宗僧侶 小西 正純

人の心の  
まことなりけり  
と臨書されていた。諱詠して五体の震憾と共に悟得した。即ち拝礼は儀礼の様式ではなく、至誠赤心をも

式で慰霊して尚お恥じず、更に祖国に殉ずるを潔しとして軍人になられた艦員各位は殉難・戦死を問わず全き英霊軍神にして、殊に各国海軍の波濤越えたる連帯感に鑑みれば、日本国の軍神として奉迎するのは決して罰当たりではないと、一気呵成に苦悶は消えたのである。

この道理から推して、わが国軍・自衛隊への任官の砌、「事に臨んでは」と宣誓した瞬間、軍神位に登極されたものと解するのがまた国民の至誠赤心であろう。加えてその隊員の生首を刎頭する等は、法の下の平等に照らしても天誅必罰ものだと、宗教家としての期に断言して置く。

かくして将兵の神前(ひるまへ)で会員諸公の熱禱に支えられながら「両国の社稷繁栄と御戦防人(みい)くさ・さきもり)の武徳長久を祈念しつつ、過ぎし春秋英霊軍神の鴻恩に報い奉らん」と表白を結んだのである。

# 「エルトルル号」慰霊の旅



表白を朗誦する小西和尙



和歌山駐屯地の水陸両用車の前で

トルコ軍艦「エルトルル号」遭難事故(明治23年(1890)9月16日)から119年目を目前にした9月13日(日)に、慰霊祭を執り行うために遭難慰霊碑が建立されている和歌山串本町大島(通称:紀伊大島)を訪れた。和歌山県と

いえば、世界遺産にも登録された熊野古道を初め、南紀白浜、高野山等は観光地として有名ですが、「

## 航空自衛隊串本分屯基地

### 訪問記

高岡 昭一(防大4期)

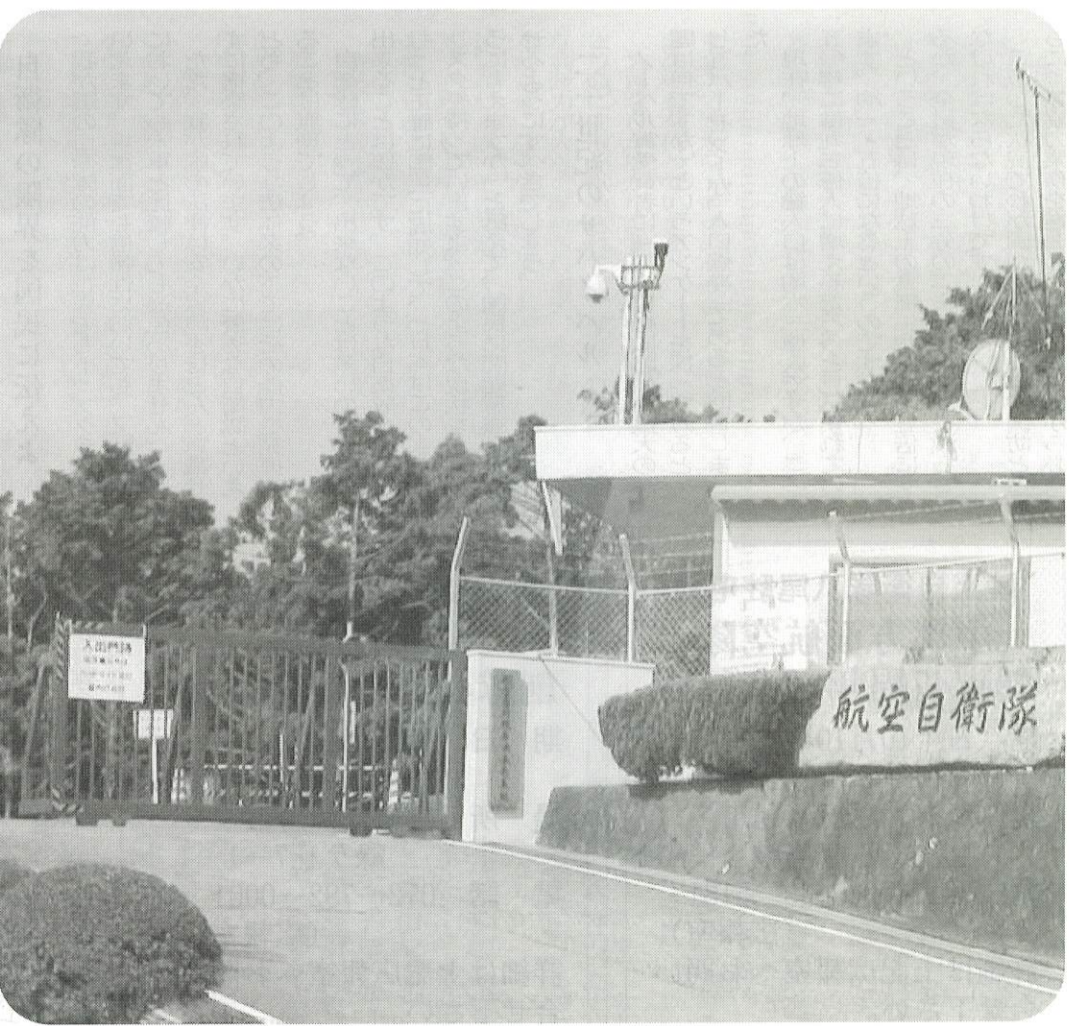
部にある大森山山頂に、白レーダードームが見えて

隊員は、約160名が勤務しているが、大半はシフト勤務であり、本日は週末のため、隊員の姿はあまり見かけなかった。

午後5時頃に、正門において、中平3尉、警衛所の隊員に見送られながら、今夜の宿泊先、串本ロイヤルホテルに向かった。

ここは串本、向かいは大島、中を取り持つ巡航船「……」と語られた串本節は、存知ですが、ここを訪れる方は少ないようです。平成11年、串本大橋の開通に伴い、今では紀伊大島まで車で渡ることが出来ます。

説明によると1955(昭和30)年、米極東空軍により、紀伊大島の大森山頂にレーダー基地が建設され、1957(昭和32)年、航空自衛隊9082部隊が展開した。OJT訓練ののち、1959(昭和34)年に米空軍から航空自衛隊へ基地管理を移管され、今日に至っている。途中、レーダー等は換装され、1969(昭和44)年には、パッシブシステム(自動警戒管制組織)が導入され、航跡データ等の自動処理および自動伝送で対処しているとのこと。



航空自衛隊串本分屯基地正門

# 日本がオバマ大統領を生んだ



日本には幾度かの国難があった。第一の国難は元寇であり、次が日露戦争。これらは、幸いしてわが国は勝利をおさめることが出来たが、第三の国難、大東亜戦争においては、完膚なきまでに敗れた。挙句、米英の占領政策により、この戦を侵略と決めつけ、徹底した洗脳教育をされてきたために、現在の日本人の殆どの人々はすっかり洗脳された、誇りを失い、精神が荒廃してしまっている。しかし、諸外国は決してあの戦争を無意味な侵略戦争とは受け止めていない事を我々は、改めて認識する必要がある。

一九九二年のマレーシアのマハティール首相の演説に今一度、耳を傾けてみよう。「日本の存在しない世界を想像してみたらよい。もし、日本なかりせば、ヨーロッパとアメリカが世界の工業国を支配していたらどう。欧米が基準と価格を決め、欧米にだけしか作れない製品を買ったために、世界中の国は、その価格を押し付けられていたろう。(中略)東アジア諸国でも立派にやっつけていることを証明したのは日本である。そして、他の東アジア諸国は、あえて挑戦自分達も他の世界も驚くような成長

を遂げた。東アジアの人は、もはや劣等感にさいなまれることはなくなった。いまや日本の、そして自分達の力を信じているし、実際にそれを証明して見せた。もし、日本なかりせば、世界はまったく違う様相を呈していたらどう。」

「うまでもなく、これは大東亜戦争で独立を遂げる事の出来た国々の、日本への賛辞の一端である。大東亜戦争以前の世界の情勢は、欧米諸国が世界の六割を占めていた。それらは殆ど植民地であった。日清戦争のあと、日英同盟を組んでいたために、日本も戦勝国として国際連盟に出席し、その折、先ず「人種差別撤廃」を提唱したのである。多数の賛同を得たが、議長国であったアメリカのウィルソン大統領は、このような重要な議題は全員一致でなければならぬと主張し、否決されてしまった。

## 自虐史観のトラウマから脱却し自国への誇りを

和宗総本山四天王寺 第百拾世管長 出口 順得

しかし、大東亜戦争で日本が敗北を喫したために、結果的には欧米の植民地は全て開放されたのである。歴史学者A・トインビーは、「アジアとアフリカを支配してきた西洋人が、過去二〇〇年の間信じられてきたような不敗の神でないことを、西洋人以外の人種に明らかにした」ことが、日本人が歴史に残した功績だと述べている。

アメリカの経済学者で思想家でもあるP・F・ドラッガーは「しかし結局のところ、最後に勝利したのは日本だった。日本のとった道、つまり自らの主権のもとに近代化、すなわち西歐化をはかるという道が、結局西洋を打ち負かした。日本は西洋を取り込む事によって、西洋の支配を免れた。軍事的には、日本は第二次世界大戦に於いて、歴史上最も決定的な敗北を喫した。自ら植民地大國たらんとする政治的野望は達せられなかった。しかし逆説が起る。その後の推移では、政治的に敗北したのは西洋

カの人種差別は続き、七〇年代になってようやく解放されたのである。日本がたった一國で欧米に対抗するという蛮勇がなければ、現在のオバマ大統領は生まれなかったといっても過言ではない。

次に述べたいのは、大東亜戦争の東京裁判の是非についてである。当時、日本の占領の統帥者であったマッカーサー元帥自身が、一九五一年(昭和二六年)の米上院の軍事外交合同委員会での次のように証言していることは、見逃せない事実である。

「日本は侵略戦争をした邪悪な国だった」ということを繰り返して洗脳する、侵略戦争非難宣伝計画「ウォーギルド・インフォメーション・プログラム」である。これに対して、真実を知っていた世代はじっと耐え、いつか正しい歴史教育に戻せばいいと思っていた。ところが、占領と冷戦時代が長い間続いたために、戦後教育を受けた世代が学校の先生になり、誤った歴史を次代に教えたのである。しかし、往事すでにアメリカに

「近代日本の発展ほど、世界を驚かせたものはない。一系の天皇を戴いている」と、今日の日本をあらわしたものである。私はこのように尊い国が世界の二ヶ所位なくてはならないと考えた。世界の未来は進むだけ進み、その間、人類はまことの平和を求めて、世界的な盟主をあげなければならぬ。この世界の盟主なるものは、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を抜き越えた、最も古く、また尊い家柄でなくてはならぬ。世界の文化はアジアの一人、ワイリアム・シーボルト総司令官(外交部長)

「日本は、絹産業以外には、固有の産物はほとんど何もない。彼らは綿も羊毛も石油も錫もゴムもその他実に多くの原料が欠如している。そしてそれらすべて一切がアジアの海域には存在していたのです。もし、これらの原料の供給が断れたら、日本国内で二千万人から二千万人の失業者が出ていたでしょう。日本人はこれを恐れていました。したがって、日本が戦争に突き進んでいった動機は、大部分が安全保障の必要に迫られてのことだったのです。」

「日本の国民性のうちに、利己的な個人主義が比較的に少ないことは、この国の救いであり、それがまた、国民をして優勢国に対して自国の独立をよく保つことを得せしめたのである。このことに対して、日本は、自国の道徳力を創造し保存した、二つの大きな宗教に、感謝してよからう。その一つは、自分の一家のこと、もしくは自分のことを考える前に、まず天皇と国家のことを思ふことを国民に教え込んだ、かの神道である。それとも一つは、悲しみに打ち勝ち、苦しみを喜び、執着するものを滅却し、憎悪するものを暴虐を、永遠の法則として甘受するよう国民を鍛え上げた、かの仏教である。」(終り)

かくして間違った自虐史観は成長し続け、洗脳され



昭和四年建設の弔魂碑



献香の順番を待つ参加者



献花する濱野会長

第45回総選挙の結果は皆さんご承知の通りで自民党が惨敗し、既に旧聞に属し鳩山内閣の新たな大臣の論評でマスコミは盛り上がりつつある。小会の特別顧問は稲田明美さんが選挙区で当選、小池百合子さん、高市早苗さんのご両人が比例で復活当選され、男性陣の大前繁雄、木挽司、西村真悟の皆さんが涙をのまれた。

新聞、週刊誌などで民主大勝、自民惨敗の総括がましいが一致した評論は民主党が頑張ったと言ったり、自民党の愚行・腐敗・政権欲が有権者に見放され自滅した、と云うものである。自民党落城などの見出しなどは秀逸でさえある。

小会では濱野会長が西村真悟氏の後援会長をしている関係上(初代高橋会長からの継承事項)西村氏の属する「改革クラブ」の近畿比例区選挙の手伝いをした。

まず痛感したのは公職選挙法の曖昧模糊とした内容である。大阪府選挙管理委員会に出向いて問うてもハッキリしない。法解釈のグレーゾーンが大きく、管理委員会の職員自身が責任問題に波及する事を恐れて腰の引けた消極的解釈をする。

つまり政治活動(政党活動)と選挙運動は別別のつぎに行為であるが公選法はこれを区別している。愚例が公示前の候補者一人のポスター写真は選挙運動に該当し違反するが、等面積で応援弁士の写真と並んで載ってれば政

治活動になりOKだといふ。昨秋より街頭で多数見かけたポスターがそれである。為に公選法解釈は最終的に司法当局の判断に委ねられる事になる。

次にお金のかかること。選挙用の各種印刷物などの費用も馬鹿にならないが、我々はボランティアとして交通費も昼食代も自弁の応援であり年金生活者にはこたえる、ましてサラリーマンなどの人達は土日の休日にし手伝いでできない。そして立候補者の諸々の金

「政治は力、力は数、数はカネ」と喝破しキングメーカーとして君臨した故田中角栄元総理の秘蔵っ子である小沢氏の事である。献金ルートは盤石なものがあるのだから。しかし、凡人は思う、見返りなくして献金する者があるのだろうか。耳目に新しい小沢氏の秘書逮捕の件でも、同じく逮捕された西松建設の元社長は暗黙の見返りを期待して献金した、と報道されていた、魚心と水心である。またボヤキついでに述べ

六百強ありながら地元堺市で改革票は一万三千三百強の票しか出ていないことである。

もう一つボヤけば、国家主権の確立や国防を訴える西村氏には前航空幕僚長の田母神氏や金美齢女士が応援に入った。危機感を持ったのか国防の「この字」も語った事のない、と思われる自民党の岡下信子氏(大阪17区、70才・落選)は応援に陸自出身のヒゲの隊長こと佐藤正久参議院議員を招いた。佐藤氏が参議院選挙に出馬した時に西村氏は陰で積極的な応援をしている。かつ岡下氏が佐藤議員の応援をした話は聞いた事がない。離合集散・合従連衡は世の常とはいえ信義にもとる、とはこの事である。

国家にとって西村氏と岡下氏のどちらが必要かは明らかであろう。佐藤氏が陸上自衛隊を退官しての参院選挙出馬時、大阪で街頭演説した時には小会のメンバーは地下鉄を乗り継いで追っかけ応援をした、が次回の選挙では佐藤氏への随順は一考しなればならない。

# 自民党 落城す 吉岡 茂

と「改革クラブ」のネーミングはまったく浸透してない。西村氏が復活当選するには近畿比例で40万票必要とされていたが、選挙一週間前に出てきた渡辺喜美氏の主催する「みんなの党」は近畿で四十六万五千強の得票があった。改革クラブはこの個人雇用秘書団の給料などのお金はどこから出ているのか?である。公設秘書など名目では国庫より給料が出ている事は承知しているが、それ以上の秘書の給料は代議士の俸給だけでは賅える金額ではない、と誰しも思っている。

と「改革クラブ」のネーミングはまったく浸透してない。西村氏が復活当選するには近畿比例で40万票必要とされていたが、選挙一週間前に出てきた渡辺喜美氏の主催する「みんなの党」は近畿で四十六万五千強の得票があった。改革クラブはこの個人雇用秘書団の給料などのお金はどこから出ているのか?である。公設秘書など名目では国庫より給料が出ている事は承知しているが、それ以上の秘書の給料は代議士の俸給だけでは賅える金額ではない、と誰しも思っている。

## 関防 フラットシユ



左から濱野会長、梅野副議長、岡議員、村上議長



関防会旗を持つ濱野会長、その右に田嶋町長、村上議長、橋爪議員

## 編集 後記

紀州・串本は太平洋の荒波に洗われる岩礁の多いところで、江戸から明治にかけて交通網が発達していない時代、海上交通が最速唯一といっても過言ではない地域だ。熊野水軍とも九鬼水軍とも呼ばれる海上交通を支配する勢力が発達してきたのがつなげる地形だ。純粋紀州犬が現存するのは人為的に雑交を防ぎ保護されてきた故だが、この太平洋の荒波が打ち寄せる熊野の峻峻な地形が純粋日本人を培養してきたのではな

朝は離散した。この南朝の一族郎党は護良親王の皇子・大塔おとつこの宮を奉じて紀伊山脈を下り、熊野の山地に盤踞した。これが「後南朝」として約100年間続いたが、この末裔が約500年後の明治41年に熊沢天皇として現れ「南北正閏(主と従)問題」として明治の帝國議會を賑わした。

北朝系の明治天皇の御裁可により南朝の末裔と認定され騒動は収まったが、この熊沢天皇の皇子が昭和23年、大阪今里新地の料亭で菊の御紋章を盾に2週間居続けの無銭飲食を働き大阪府警に逮捕された。

串本歴史旅行で歴史に想いを馳せると、かくも紀州熊野の天地は奥行きが深い。

※「北方領土の今昔」の講師・井上達夫氏はキャリア官僚らしく理路整然とした話ぶりで大学教授の講義はかくあるものか、と思わせながら堅苦しいことばなく素直に耳に入り理解できた。

北方領土もそうだが竹島や尖閣諸島など我々は真剣に考えなければならぬ、領土の保全は国家の最重要課題である。

※岸谷氏はジェット戦闘機パイロットの厳しい肉体的負荷を淡々と語っていたが文章にしてみても大変なことが解る。それよりも氏が「核」問題に一家言もあって傾聴に値するが一部文章では割愛してあった。これは編集者がテープ起こしの段階で文字数を制限したためで、寛恕を乞う。

※選挙問題に触れないわけにはいかなかったので大学で危機管理を教えている吉岡氏に寄稿をお願いした。氏は専門家らしく数字を挙げた専門的な分析の論稿であった。ただ吉岡氏も自分の論稿が一般向きでない、と自覚があつてか適当に料理してくれ、との事だった。そこで編集者が換骨奪胎を試み、牽強付会した。乞御海容。(新)



村上修町議会議長、梅野副議長の歌う串本節で踊る

**死んでたまるか!!**

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!  
沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアシの  
純粋フコイダンダブル配合!!  
生活習慣病が気になる方に...

**Fucoidan Z**  
フコイダンゼット

【フコイダンZ】150粒(25~50日分) 25,000円  
お試し用30粒入り 2,000円と  
お徳用350粒入り 50,000円もあります。

**Beauty Health Laboratory**  
ビー・エイチ・ラボ

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10  
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824  
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

**送迎車両の運行と管理は  
安心・安全の弊社へ!**

**人員送迎の**  
・乗 用 車・ワンボックス車  
・マイクロバス・大型バス  
**運転請負の専門会社**

社団法人 日本自家用自動車管理業協会[正会員]  
株式会社 **サンワ運行委託**

フリーダイヤル 0120-77-5645  
URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/  
一本社

〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル)  
☎06(6993)5645 FAX06(6993)5644  
神戸支社 ☎078(652)5645/京都営業所 ☎075(595)5645